

令和2年度

事務事業評価表(令和元年度の実績評価)

記入年月日
令和2年4月12日

Table with columns for 事務事業名, 橋梁定期点検, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '道路網の整備' and '道路橋梁総務事業'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要, ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Contains text about bridge maintenance and inspection procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with multiple columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標) across years 30, 01, 02, 03, 04.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input amounts and costs for 30, 01, 02 years, categorized by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel.

Table comparing 01年度事業費実績 (千円) and 02年度事業費予算 (千円) with specific line items like '14 使用料及び賃借料' and '13 委託料'.

事務事業名	橋梁定期点検	事務事業No.	50302000975	所属課	建設課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
橋梁等の道路構造物が急速に老朽化していくことを踏まえ、各道路管理者の責任による点検→診断→措置→記録というメンテナンスサイクルを確立するため、道路法施行令第35条の2第2項の規定に基づき、道路法施行規則において、道路の維持・修繕に関する具体的な基準等を定めるため、「道路法施行規則の一部を改正する省令」及び「トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示」を平成26年3月31日に公布され、同年7月1日より施行された。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
「メンテナンスサイクルを構成する点検・診断・措置・記録は各道路管理者の責任であること」「点検は、国が定める統一的な基準によって、5年に1度、近接目視による全数監視を実施すること」との学識経験者等から意見が寄せられた。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 良好な管理の下に未永く利用するため、安全かつ円滑な交通の確保ができる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市が管理する橋梁であり、管理者である市が行うことは妥当である。また、橋梁の変化についての情報も管理者が把握するなどの点からも市が行うべきである。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 道路法の改正、省令・告示の施行により、橋梁の点検は、「近接目視により5年に1回の点検」が義務付けとなり、国土交通省による国費の支援制度を利用するため、現在計画が最適な手段である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 義務化された点検でもあり、道路管理者の責任として廃止することは出来ない。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 橋梁の点検であり、類似事業はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 橋長が短い橋梁については、直営点検による対応が考えられる。しかし、研修などを通じ知識を習得していく必要がある。
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内の橋梁(橋長2m以上)を対象とし、一部に偏ることはない。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	令和元年度より15m以上の橋梁は業務委託で、2m~15mは直営点検で行う事とし橋梁点検システム等を導入して体制を整えたが、災害対応で業務過多となり目標の進捗には達しなかった。																								
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
⇒																										
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上					維持	○				低下				
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上																										
維持	○																									
低下																										
直営点検を行う上で、多くの職員に知識や技術を習得させるとともに、他事業の業務進捗と調整しながら進めなければならない。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 ③																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>